

第9回八戸市中心市街地活性化協議会 議 事 録

1. 開催年月日 平成22年3月17日(水) 15:00～16:20

2. 開催場所 八戸商工会館3階大ホール

3. 出席者数 (1)委員 29名
(2)オブザーバー 0名
(3)事務局 6名(タウンマネージャー含む)
(4)八戸市 5名(委員は含まない)

4. 議事の概要

事務局から開会を宣し、橋本昭一会長の挨拶の後、事務局から規約第14条により委員37名の内、29名が出席したことから定足数を満たし、協議会として成立する旨及び会長が議長となる旨を説明後、会長が議長となり議事に入った。

第1号議案 平成21年度事業状況及び収支決算見込みについて

事務局より、平成21年度の協議会活動状況と収支決算見込みについて報告があった。議長が議場に意見を求めたところ、意見はなかった。議長より5月に開催される総会で正式に事業報告及び収支決算を議案として提出する旨の発言があり、了承された。

第2号議案 タウンマネージャーの設置について

事務局より、タウンマネージャーの平成21年度活動状況及び平成22年度のタウンマネージャーの設置について説明があった。議場に意見を求めたところ、意見はなく、平成22年度も引き続き小林隆一氏をタウンマネージャーとして設置することが承認された。

第3号議案 平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

事務局より、八戸市中心市街地活性化協議会の平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)について説明があった。議場に意見を求めたところ、特に意見はなく、議長より5月に開催される総会で正式に事業計画(案)及び収支予算(案)としてを議案として提出する旨の発言があり、了承された。

第4号議案 八戸市中心市街地活性化基本計画への事業追加について

市より、八戸市中心市街地活性化基本計画への事業追加について説明があった。議場に意見を求めたところ、意見はなく議案が承認された。

第5号議案 中心市街地駐車場実態調査の結果について

市より、昨年実施した中心市街地駐車場実態調査について説明があった。
議長が議場に意見を求めたところ、意見はなかった。

第6号議案 その他

市より、八戸市中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて以下の通り説明があった。

(市中心市街地活性化推進室)

- ・基本計画の目標数値の達成が現在の状況では非常に困難な見通しであり、内閣府からも現在の計画掲載事業だけでは目標達成が非常に困難であると指摘されている。
- ・そのため、市では中心市街地の空き店舗を減らすための空き店舗対策事業を八戸市中心市街地活性化基本計画に掲載して実施するほか、中心市街地活性化に関わる各事業主体が連携をとり事業効果の促進を図ることを内閣府に報告する予定である。
- ・来年度もはちのへほコテンや市日事業、はっち開館プレ事業などの来街者を増やすための事業が予定されているが、中心市街地活性化に関わる全ての事業主体と連携しながら様々なアイデアを出していく必要がある。

議長が議場に意見を求めたところ、意見はなかった。

5. 委員で話し合われた意見

①はちのへほコテンについて

(高谷委員)

はちのへほコテン時の歩行者通行量が通常時の約2.4倍だったようだが、商店街の販売額増加に繋がっているのか。

(事務局)

八戸ほコテン実施時における販売額については把握していない。ただ、はちのへほコテンは単なるイベントではなく中心商店街の個店の売上を増加させるために各店の出店ブースで構成する方法を取っている。そのため、各店が売上増加を目指して取り組んでいるものと理解している。実数の把握は難しいと思われるが、はちのへほコテン実施時における各店の売上傾向について、アンケート調査等の実施を今後検討して行きたい。

(小笠原委員)

取引先の飲食店から聞いたところ、通常ベースの3倍の売上があったということだ。今後もこのようなイベントを継続して実施して欲しいという要望を受けた。

②共通駐車券事業のリニューアルについて

(会長)

リニューアルされた共通駐車券事業（おんでカード）の運用状況はどのようになっている

るのか。

(事務局)

2月15日にリニューアルスタートしてから3月までで約300万円ほどの売上を記録している。新たにリニューアルするということで、3月末まで割引セールを実施しているが、それに合わせて積極的に加盟店募集を行っているところである。また、リニューアルに際しての苦情やトラブルはほとんどなく、事前にチラシ等でPRしたこともあり比較的スムーズに移行できたと思われる。

③ 中心市街地駐車場実態調査について

(小林タウンマネージャー)

駐車場は比較的大きな立体駐車場と小さく個人経営している駐車場では意見が異なるけれども、市民アンケートでは駐車場に関する料金等の問題が必ず挙げられていることから、駐車場事業者も自ら対応する必要があるという気持ちを持っているようだ。交通アクセス部会でも来年度は駐車場事業者組織の検討について協議していく。

(古玉委員〈代理：豊田美好氏〉)

今後三日町に市の公共施設ができることから、今までより多くの人々が様々な用事で中心市街地に訪れることが予想される。市の駐車場や空き地を土日に限って解放してみるなど、中心市街地を盛り上げていくために行政も積極的に協力する必要があるだろう。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、16時20分に閉会した。